

# 保健だより 2月



令和5年2月21日  
十和田高校保健室 No.11

もうすぐ卒業式ですね。3年生は18歳の新成人として、十和田高校を卒業し、社会へと旅立ちます。さて、先日、本校2年生と花輪高校1年生を調査対象とした男女共同参画とデートDVに関するアンケート調査が実施されました。アンケート結果の一部を紹介します。男女それぞれの思いやりや責任について考える機会にしましょう。

## Q あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

|              | 知っている | 聞いたことがある | 知らない  |
|--------------|-------|----------|-------|
| 男女共同参画社会     | 66.4% | 28.2%    | 5.4%  |
| ワーク・ライフ・バランス | 76.5% | 20.1%    | 3.4%  |
| DV           | 94.6% | 5.4%     | 0.0%  |
| 育児・介護休業法     | 47.7% | 33.6%    | 18.8% |
| 固定的性別役割分担    | 19.5% | 38.3%    | 42.3% |
| LGBT         | 76.5% | 15.4%    | 8.1%  |

「育児・介護休業法」以外の5つの用語について、昨年度より「知っている」の割合が増加しました。特に、「LGBT」については、「知っている」の割合が昨年度より28.0ポイント増加しており、近年の社会における「LGBT」への関心の高さがうかがえます。

## Q あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(自由回答)

- ・男性だからこうしなければならない、女性だからこうしなければならないという固定概念を捨てて、性別関係なく相手にとってうれしいことなどをするべきだと思います。そのために、協力し合っていくのは難しいけれど、それが少しずつでもできていくと社会はだいぶ変わってくるのかなと思いました。
- ・男女の差別をなくし、お互いに思いやりをもって生活していくことが必要だと思う。自分の意見を相手に押しつけるなどして、人権をなくしてしまうようなことは絶対にあってはいけないと思う。
- ・何か言う前に相手の気持ちになってみてから言うことが大切だと思います。自分がされていやなことは相手にもしない。

多様性やお互いの意思を尊重し合うことの大切さが読み取れる回答が多く見られました。

## ◎DV行為に対する相談機関

アンケート結果から、デートDV等の被害を受けた際の相談機関について、相談先が「わからない」と解答した生徒が3割となりました。身近な大人のほかにも、社会には様々な専門機関があります。



警察



市役所や保健センター  
福祉事務所



NPO 法人などの  
民間支援団体

この他にも、法テラスなどの法律専門機関や配偶者暴力支援センター、人権擁護委員や法務局などにも相談することができます。いざというときに身を守るためにも、知っておくようにしましょう。